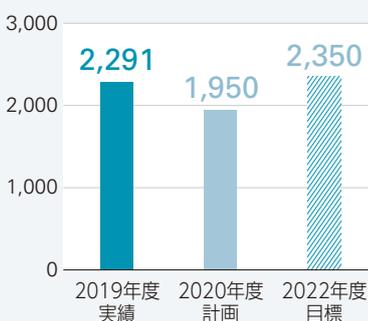


事業概況一覧

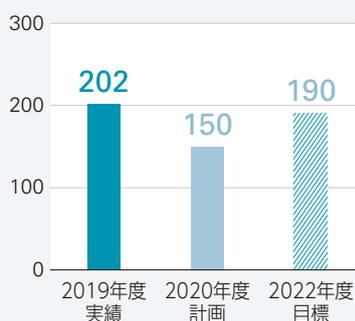
OKIグループは、リアルな世界での**モノづくり**と、機器群とクラウドとをリアルタイムに連携させるソリューションやサービスの**コトづくり**の両輪で、社会課題の解決を目指しています。この目指す姿の実現に向け、2020年4月から「ソリューションシステム」と「コンポーネント&プラットフォーム」の2事業体制へと再編し、技術の融合、パートナーとの協働・共創を通して、チームOKIで成長戦略を推進しています。

ソリューションシステム

売上高(億円)



営業利益(億円)



売上高構成比

50.1%



ETCを用いた決済ができるETC多目的利用サービス



セルフ端末用
ミドルウェア
「CounterSmart」

TOPICS

オンラインでの「AIエッジ・カンファレンス&ソリューションコンテスト」開催

OKIは2020年9月、AIエッジコンピューティングの普及・拡大を目指し、「AIエッジ・カンファレンス&ソリューションコンテスト」を開催しました。OKIでは初となるリアル会場とオンライン配信のハイブリッド開催です。コンテスト専用サイトおよびYouTubeのOKI公式チャンネル合わせて、約3,000名の視聴者が参加しました。

OKIのバーチャルキャラクター「緒希ツナグ」が総合司会を務め、第一部ではAIの社会実装をテーマとした講演、パネルディスカッションが、第二部ではAIエッジコンピューターのコラボパートナー19社の応募による、各社独自のソリューションを競うコンテストが行われました。

関連Webサイト <https://www.oki.com/jp/Aledge/campaign/contest.html>



AIエッジ戦略について講演する坪井事業本部長



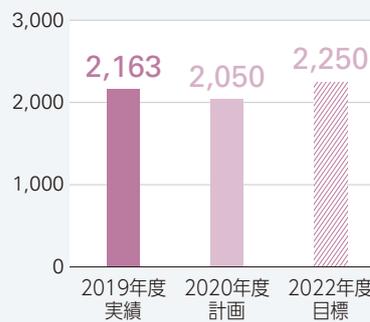
※2019年度実績については、注記があるものを除き、変更後のセグメント区分に基づいて記載をしています。

コンポーネント&プラットフォーム

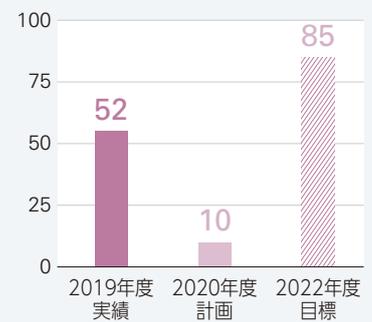
売上高構成比

47.3%

売上高(億円)



営業利益(億円)



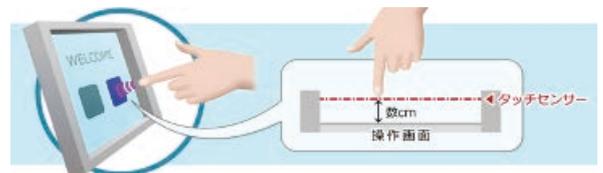
モノづくり総合サービス



TOPICS

非接触操作を実現した「ハイジニック タッチパネル」を開発

ニューノーマルを見据え、セルフサービス端末における感染予防策の一環として、画面に触れずに操作ができる「ハイジニックタッチパネル」を開発しました。OKIのセンシング技術を活用し、端末の操作画面に実装したタッチセンサーにより、利用者は画面の数センチ上に指をかざすことで操作が可能になります。セルフサービス端末は、空港の自動チェックイン機や金融機関のATMのほか、流通、小売、飲食、医療などあらゆる業界・分野で利用されています。OKIは今後、ハイジニックタッチパネルの活用拡大を図り、ウィズコロナ時代に適応した安心・安全な社会インフラを支えていきます。



「ハイジニック タッチパネル」操作イメージ

関連Webサイト <https://www.oki.com/jp/press/2020/09/z20053.html>

その他
2.6%